

神奈川県での養豚場で豚熱発生(県内初)

7月8日、神奈川県相模原市の養豚場で、豚熱(CSF)が発生しました。

発生の概要は以下のとおりです。**神奈川県では野生イノシシでCSF陽性が確認されていますが、養豚場でのCSF発生は県内初となります。**

【発生の概要】

神奈川県相模原市 4,328頭

疫学関連農場：神奈川県相模原市（1農場）

疫学関連施設：神奈川県横浜市（1施設（と畜場））

経緯（1）7月7日、当該農場の死亡子豚（**ワクチン未接種**）を解剖したところ、CSFが疑われる所見を確認

（2）検査によりCSFの疑いが生じたため、国の機関で検査を実施したところ、7月8日、CSFの患畜であることが判明

CSF発生農場から半径10km圏内に、町田市・八王子市・多摩市が入っています！

神奈川県における野生イノシシCSF検査状況

神奈川県では、CSF感染の野生イノシシが継続して確認されています。

現在までに27例の陽性イノシシが確認されており、今回CSFが発生した農場のある相模原市では11例の陽性イノシシが確認されています。

都内でも現在までに9例の陽性イノシシが確認されており、CSF発生リスクは非常に高い状況です。引き続き、野生動物侵入防止対策をはじめとした衛生管理の徹底をお願いします。

～野生イノシシCSF検査状況（令和3年7月8日時点）～ ※（ ）は陽性頭数

県・地域	捕獲イノシシ	死亡イノシシ	計
神奈川県全体	900 (20)	44 (7)	944 (27)
》相模原市	172 (6)	11 (5)	183 (11)
参考：東京都	125 (1)	19 (8)	144 (9)

飼養衛生管理基準の徹底のお願い

○野生動物の侵入防止対策

- ・ 境界に柵等の設置、壁・窓の破損修繕を行い**家畜と野生動物の接触を防止**
- ・ 家畜の死体は保管庫等により処理までの間、**野生動物と接触がないよう保管**
- ・ 外部からゴミ（食べ残し、野生動物の死骸など）を持ち込むリスクがあるため、**犬・猫等の愛がん動物を衛生管理区域内で飼養しない**

○人・車両・飼料等によるウイルスの持ち込み防止

- ・ 看板の設置などにより**不要な物の持ち込み、不要な人の立ち入り**を防止
- ・ **衛生管理区域内専用の衣類・靴を設置**、本区域内に立ち入る全ての人が着用
- ・ 飼料給与の際は、食品循環資源を原材料とする飼料を与える場合は、**動物由来品（牛、豚等の偶蹄類肉、肉製品等）が含まれているか確認**すること

○飼養管理の記録の保管

- ・ 家畜の飼料給与、分娩、出荷、異常・死亡等に関する記録および保管

- ・ **これまで以上に、消毒の徹底、特に出入りする車両の消毒を徹底して下さい。**
- ・ **と畜場、家畜市場に行く場合は、交差汚染に十分に注意し、出場時の消毒は必ず実施して下さい！**

◎豚の導入時の注意

※ 豚を導入する場合は

- (1) 導入元の疾病状況の確認
- (2) 導入元周辺地域の状況確認
- (3) 家畜商、飼料会社等に対し、発生農場やその周辺地域への立入がないか確認
- (4) 導入後の隔離
- (5) 豚の症状の確認
- (6) 導入記録の保存

**不明な点や心配なことがある場合、導入の判断に迷う場合は
当所までご連絡下さい**